

## 業務実施方針等

## (1)業務の理解度及び取組意欲

## ・当該業務の設計に係るチームの基本的姿勢

## ・「共に作り上げる」思いの共有・対話をベースにした体制

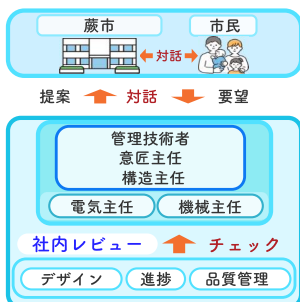
私たちは「対話とチェック」を基本に、市民や職員の方の本施設への想いや夢を共有し、地域のコミュニティの核となる施設づくりに全力で取り組みます。

## ・チームの体制、特徴、担当者数及び担当者業務内容

## ・公民館や消防庁舎など公共施設設計のエキスパートにより設計チームを編成

弊社設計部の中でも、公民館や消防庁舎など公共施設の設計経験が豊富なメンバーで設計チームを編成します。豊かな想像力と熱い情熱を持った設計者で業務をまとめ、フレキシブルな空間計画を展開できるようにします。問題の早期解決や新しい発想と提案が出来るよう中堅・若手も含めた社内レビュー・プロジェクト会議を行います。

## ・人員計画



担当	実務年数	資格
管理技術者	46年	一級建築士・設備設計一級建築士
意匠主任	32年	一級建築士
構造主任	52年	構造設計一級建築士・一級建築士 設備設計一級建築士
電気主任	65年	建築設備士
機械主任	39年	設備設計一級建築士・一級建築士
その他中堅・若手技術者（意匠、構造、電気、機械）	若干名	

## ・実施体制

基本計画、基本設計の段階は、少人数で要求に迅速に応えながら密度の濃い作業を進め、実施設計では設計技術者を増員し、工期内に適切に完了するよう余裕を持たせた人員配置を行います。

## ・基本設計に係る市民との関わり方（市民参加の方法）

## ・市民への説明、意見収集

## ・市民との対話を大切に共創る公民館

- ①市民と共に創る公民館を実現します。そのためには、基本計画の初期段階に公民館・老人福祉センターの利用者や地域の方々にアンケート調査を実施し、新たな公民館への想いや要望をお聞きします。各利用団体やサークル活動の方々、地域の幅広い年齢層の方々とワークショップを開催し、新たな公民館の姿を共に考え計画に反映させていきます。
- ②計画の進捗に合わせて市の協力のもとパブリックコメントや住民説明会を行い、頂いた意見を参考に計画をより向上させます。  
★これらのスケジュールを踏まえた設計工程を遵守します。

## (2)業務実施の方針

## ・業務の実施方針

## ・様々な利用者のニーズに応える公民館を実現します。

公民館は地域のコミュニティの核となる施設であり、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図る施設として位置づけられています。また、老人福祉センターも主に健康増進、教養の向上を目的とした施設です。施設の相乗効果を生み出し、今まで以上に愛され、楽しく便利なふれあいの場であり、かつ災害時は身近で頼れる避難場所となるよう、市の関係者や地域の方々の想いを確実に設計に反映させます。

## ・設計の進め方、手順、工程

## ・市民意見の集約意見検討、精査及び設計への反映

## ・設計工程表

	令和6年度					令和7年度				
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
測量調査等		調査等								
設計	ゾーニング	配置計画	平・立・断面・設備計画	各部詳細	まとめ	一般図	各部詳細	精算	まとめ	
地域意見収集	★アンケート	意見集約・精査・反映	ワークショップ	★パブコメ						
各種手続き							条例手続	省エネ	計画通知	

## ・市との協議の進め方

定例打合せを中心に要望をよく理解し、わかりやすい資料の提供と複数案の提示、適切なVE提案など対話を通じて的確に設計をまとめます。庁内用の会議資料など余裕を持って提出します。

## ・業務成果の品質を向上させる工夫

## ・設計図書の確認(チェック)、照査体制

## ・設計チームをバックアップする社内体制

人員計画図にある社内バックアップ体制のもと、社内レビュー、プロジェクト会議を随時開催し、以下の点のチェックをします。

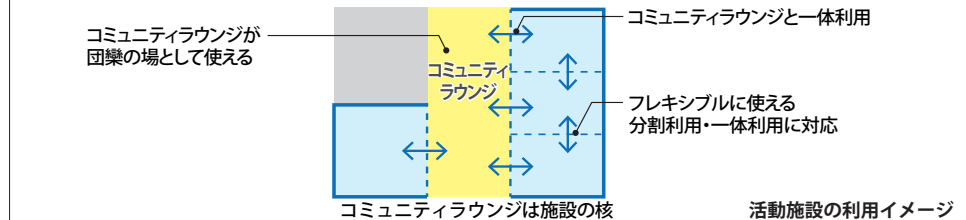
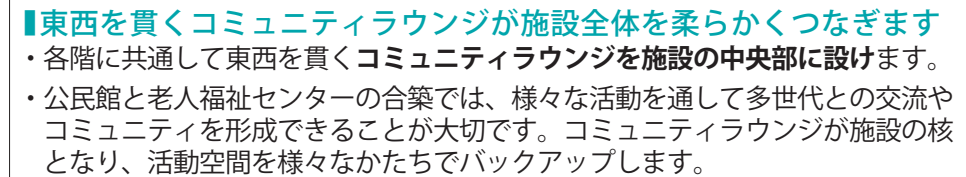
## 【プロジェクト会議における主なチェック項目】

- ①ニーズに合った設計はできているのか
- ②スケジュール管理はできているのか
- ③打合せの中で設計の変更点はないのか
- ④現時点での問題点はなにか

- ⑤分かりやすく適切な提案はできているか
- ⑥チームワークはうまく取れているのか
- ⑦品質は保たれているのか
- ⑧適正な人員配置は行われているのか
- ⑨コスト管理は適切に行われているのか



蕨市の上位計画では、日本一コンパクトな市域で住みやすさ日本一を目指そうと、『コンパクトシティ蕨 将来ビジョンⅡ』を掲げ、まちづくりを進めています。私達は、この理念に沿って様々な経験と培った英知を基に、市民により愛され親しまれる『地域コミュニティの拠点施設』づくりに全力で取り組みます。

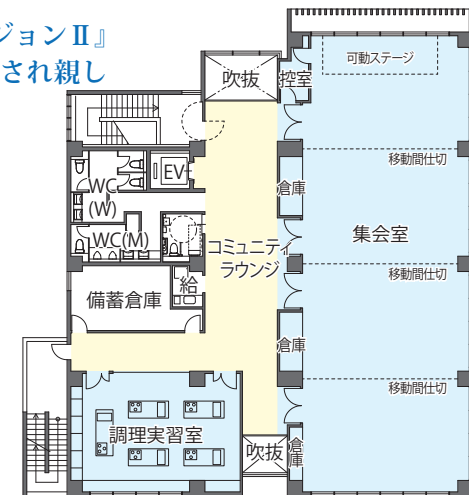
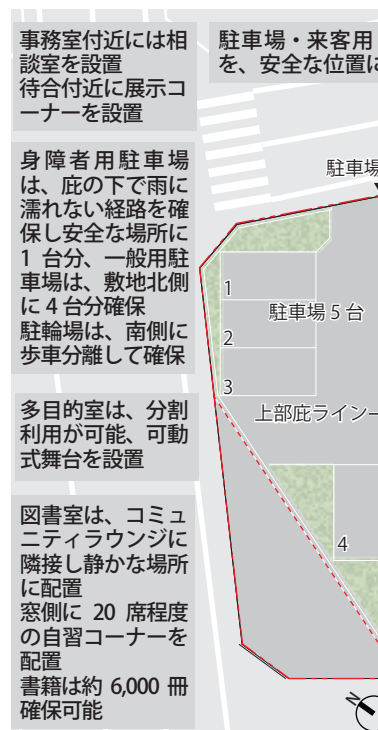
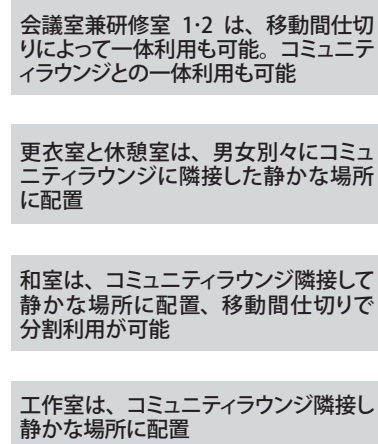
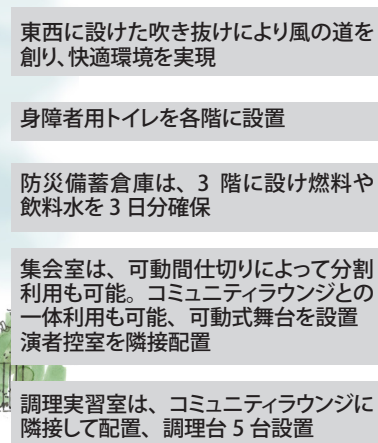


- ・各諸室がコミュニティラウンジに面して配置されていることから、諸室の単独利用だけでなく、扉の開放などにより分割利用や一体利用も可能で、様々な活動を可能とする**フレキシブルな施設**を計画します。

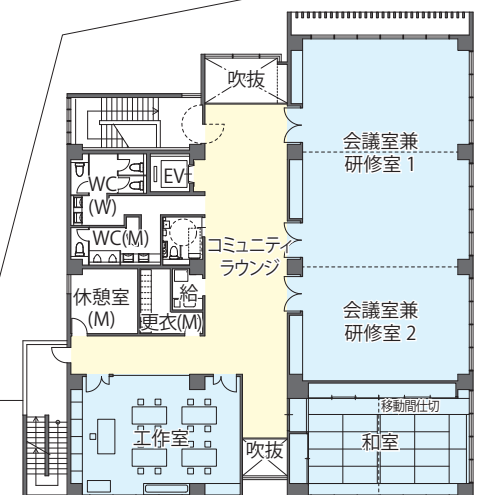
- ・明快でシンプルな施設構成とわかりやすいサイン計画により、機能的で使い易い施設を計画します。
- ・施設の**効率的な配置**を工夫することで、主要活動室の面積は概ね**要望通り設ける計画**とします。しかし、施設全体面積は極力コンパクトにまとめ、**1,300㎡程度**を目標とします。
- ・駐車場、駐輪場、来館者出入り口は各専用に設け、**歩車分離を徹底**した計画とします。

・計画地の一部に利用条件があるため、**将来を見据えた駐車場計画**とします。現段階の計画が合理的である事と同時に、計画敷地が狭いため少しでも多くの駐車場を早く整備したい要望もあることを考慮し、**無駄な工事が発生しない駐車場計画**とします。

- ・将来の駐車台数は普通車6台、身障者用1台の確保し、**北側には道路への出口を設ける事**を想定します。敷地西側角は地域のコミュニティ広場として機能し、災害時は防災広場としても活用します。広場には、かまどベンチやマンホールトイレ等が設置できる計画とします。



階段室も煙突効果を利用して換気通風利用



## 2 階平面イメージ

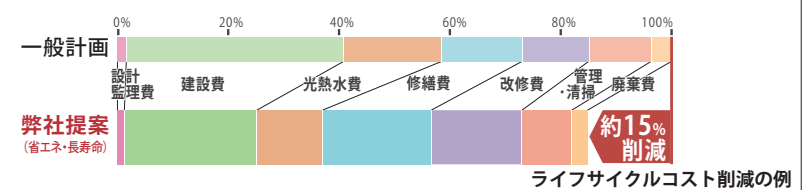


  配置兼1階平面イメージ

- ・先進的な建築として、**外皮の高断熱化**及び**高効率省エネ設備**を備えた建築を目指します。**照明の省エネ技術**（LED 照明器具、人感センサー点滅制御、昼光利用調光制御）や、**空調負荷の低減**（ナイトパーズ、高断熱ガラス、壁面高断熱化、ルーバー、庇）や**空調の省エネ技術**（放射空調、地中熱利用等）を検討します。

- ・東西を貫くコミュニティラウンジの両側に吹き抜けを設け、**風の道**を創ることでより外部からの**快適な風を取り込み**、中間期の自然通風・自然換気に役立ちます。
- ・軒や縦格子により直接光を遮り、**室内の快適な温熱環境を確保**します。

- ・自然エネルギーの活用や外部熱負荷の低減、高効率な設備機器の採用などで、エネルギーを極力必要としない建築デザイン（**パッシブ技術**）と普遍的で費用対効果の高い省エネ技術（**アクティブ技術**）を組み合わせることで、**ライフサイクルコストを削減**します。
- ・機器の**長寿命化**や**改修の容易性**に加え、**清掃や保守管理のしやすさ**等を検証しながら設計します。
- ・設計の**初期段階**から**細かな工夫**を重ね、**使い易く長持ちする建築**を実現します。



- ・要望を的確に整理し、必要な人数や家具・什器レイアウトなど適切な諸室面積の検討を行うことで、建物全体をコンパクトにおさめ、コスト低減を図ります。
- ・整形な建物で施工がしやすく、メンテナンスしやすいディテールや形状を工夫し維持管理に手間のかからない施設とし、建設費も削減します。

項 目		細 目	具体的な取組内容
運用段階の省エネ・省資源	負荷制御	外壁・屋根・床の断熱 窓の断熱・日射遮蔽 空調負荷低減	高気密・高断熱化、太陽熱高反射塗料 複層/Low-Eガラス、開口部の制限 全熱交換機、温度差換気、個別空調
	自然エネルギー利用	自然採光 自然通風（風力換気） 自然エネルギー利用 エネルギーの効率的利用 負荷平準化	自然採光を考慮した開口部、星光センサー連動制御照明 換気窓、「風の道」による自然換気 太陽光発電パネル、地中熱利用（アースチューブ） 蓄気冷房、躯体蓄熱、ダイレクトゲイン 着熱式空調システム（ビークカット）
	エネルギー/ 資源の有効活用	搬送エネルギーの最小化 照明エネルギーの最小化 水資源の有効活用 エコマテリアルへの対応 将来のバリエーション	VAV、VWV、換気量制御（CO2） 高効率照明器具、初期照度補正制御、LED照明、星光利用、人感センサーによる照明制御 屋根雨水利用、トイレ節水システム、濯水利用、井水利用 県産木材利用（木質化）、リサイクル材料
	長寿命化	建築物の耐久性等 設備材料の耐久性等	耐久性・耐震性・耐火性・保守性に優れた材料、スクリューインフィルの明確化 設備部品管理約配道、保守点検が容易な構造、予備システムへの確保、余給ある電気容量



# 地域の安心安全を支える施設づくり

## ■平常時の機能が災害時にも活かせる無駄のない BCP 計画

- ・建物は RC 耐震構造とし、耐震性能を高めます。また、設備の耐震化、非構造部材の落下防止対策を万全にした計画とします。
- ・一定期間ライフラインが寸断された場合でも、**十分なバックアップ機能を備えること**で、施設の機能を維持させます。また、日常的にコミュニティを形成する活動拠点となることから、**フェーズフリー施設**として機能し、災害時にも**心身へのストレスを軽減する施設**として活用できます。
- ・避難所滞在スペースは、**感染症対策やプライバシー保護**の観点から、**パーテーション、テント**などを用いたスペース確保に努め、**段ボールベッド**による**快適性**にも配慮したスペースづくりが重要と考えます。
- ・感染リスクの高い**高齢者や基礎疾患**を有する方をはじめ、**障害を持つ方や妊産婦**の方などは、**専用スペースを設ける**などの配慮も必要と考えます。

給水	雨水貯留槽＋防災井戸による雑用水の確保 非常用ろ過器による雨水・井水の飲用水利用	電気	2 回線受電による冗長性確保 非常用発電機（72 時間分の燃料確保） 太陽光発電（30kW）、蓄電池の照明への利用
排水	緊急汚水水槽の設置 マンホールトイレの設置	ガス	LPG パルクタンクの確保、給湯・炊出しへの利用
設備	主要設備機器の上階設置	情報	電話回線、防災無線などの通信経路の多重化

設備のバックアップイメージ

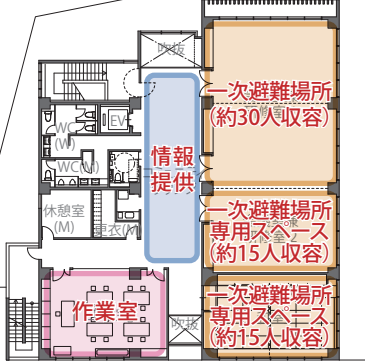
## ■災害時における設備システムの工夫

- ・空調熱源は**電気＋ガス**の併用や、空調及び電源の**系統分け**等、継続供給が可能な計画とします。**自家発電設備**を設置して避難施設機能を稼働する電源を確保します。
- ・受水槽には**緊急遮断弁**を設置し、災害時の飲料水を確保します。
- ・**太陽光発電**を携帯充電等に活用します。
- ・ピット部分に災害時のための緊急汚水水槽を設け、**マンホールトイレが設置可能**な計画とします。
- ・災害時に使用可能なことも考慮し、井水利用を検討します。

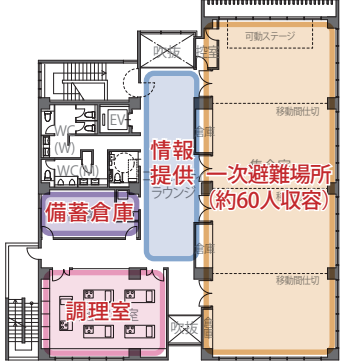
## ■災害時避難場所機能のとして施設を転用するイメージの共有

- ・災害時には、市民・関係者及び関係各省庁等と十分な連携を図り、迅速な対応が可能となる施設整備を行います。従来利用に支障なく施設を転用することで、効果的な施設運用が可能となります。

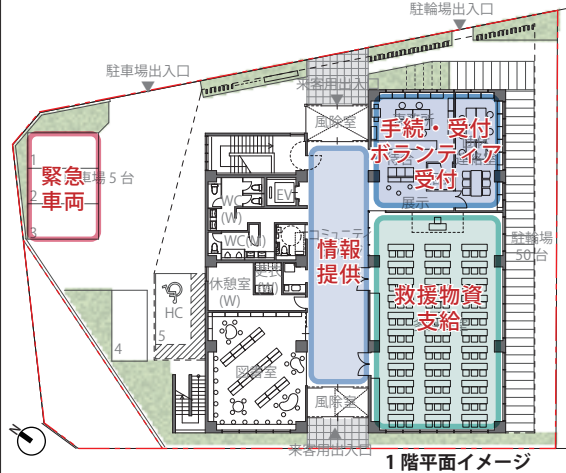
- ・コミュニティラウンジには**掲示板を設置**し、事務室との連携により、**情報提供・安否確認・ボランティア受付**など屋内活動に対応します。
- ・多目的室を利用して**支援物資の受け入れや支給**を行い、調理室と連携して**炊き出し**を行います。



2 階平面イメージ



3 階平面イメージ



1 階平面イメージ



マンホールトイレの例

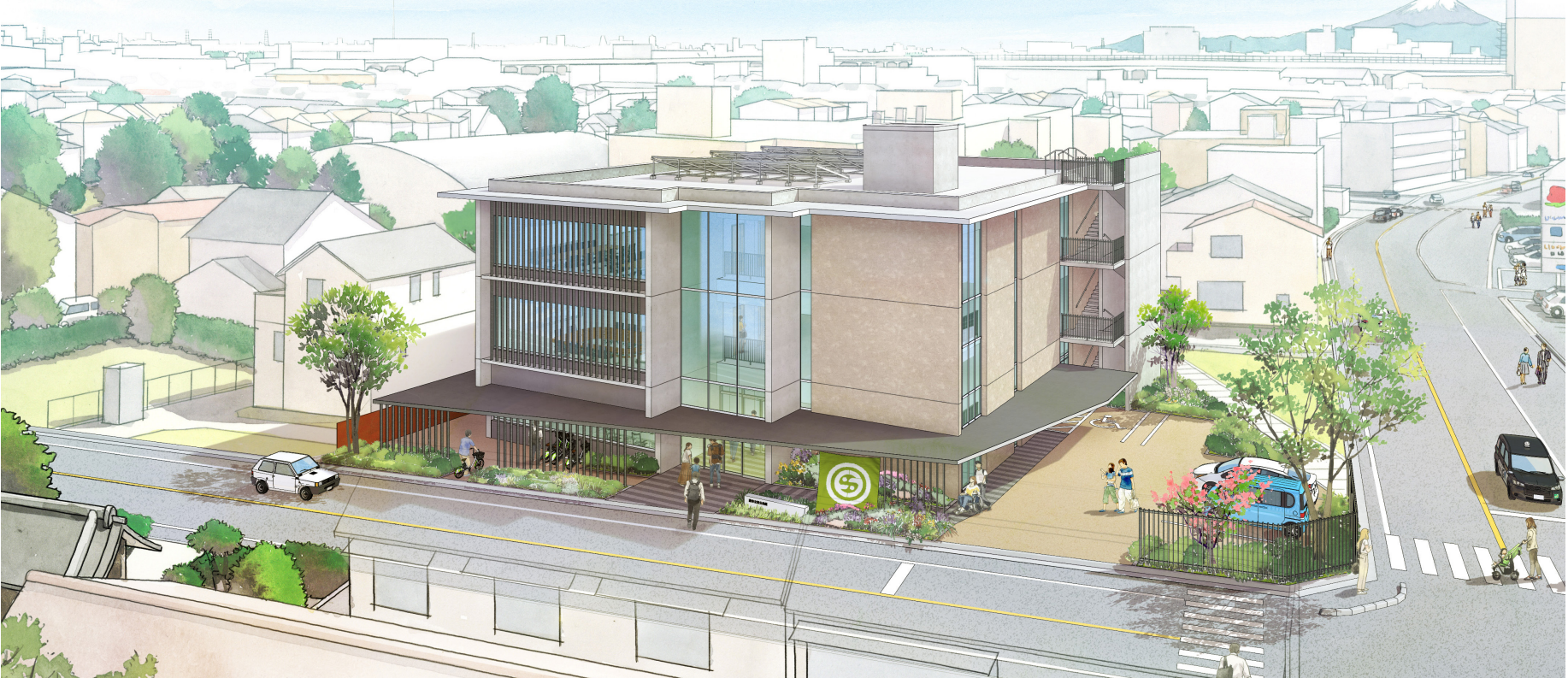
かまどベンチの例

防災備蓄倉庫の例

緊急汚水水槽の例

# 錦町地区の閑静な街並みを大切にしたい景観づくり

計画地は旧中山道に面した懐かしい街並みが続き、閑静なエリアに位置します。むかしから「自然」「歴史と文化」「快適な街の生活」を大切にしていることがよくわかり、豊かな地域資源を活用し、未来へ繋げる活動が息づいています。私達はこの歴史に敬意を払い、新たな錦町の街並みづくりに参画し、活発な市民活動を誘発することで地域の絆が一層強固になり、共に豊かな暮らしを創造できる空間づくりに取り組んでまいります。



## ■蕨の歴史を感じさせる外観デザイン、錦町の新たなシンボル

- ・歴史的な風情があり、歩いていて楽しい街並みを目指して街づくりが進められている旧中山道界隈は、**蕨市の景観特性**となっています。**歴史を積み重ねた空気や風格のある街並み**を壊さず、引き続き市民の**郷土意識を高めるシンボル**となるような建物づくりに尽力します。
- ・深い庇や軒や縦格子のデザイン、左官壁や素材感のある壁の採用による「和」を感じさせる**落ち着いた風格のある外観デザイン**を提案します。
- ・建物入り口には**蕨市の紋章をいれたのれん**や、歩道部分は自然石舗装などで、来館者を温かく迎え入れます。
- ・点在する風格のある歴史的建造物が醸し出す蕨の街並みイメージを継承し、これからの中山道沿いの**景観形成の模範**となるよう計画します。



蕨本陣の黒色や格子の組合せ



蕨双子織



資料館の黒色や格子の組合せ

## ■西小周辺の豊かな並木と連動した華やかに彩る緑化計画

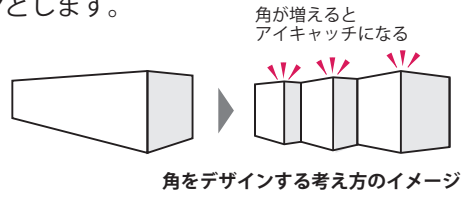
- ・隣接する蕨市立西小学校周辺の**豊かな緑**は、地域自慢の環境となっています。狭小敷地の計画地で十分な植栽スペースの確保は困難ですが、周辺緑と連動する環境を整えるよう模索し、周辺と一体となった**錦町の緑豊かな景観**を形成していきます。



西小周辺の豊かな並木

## ■視認性を高める外観デザイン、新たなシンボルとなる建物配置

- ・建物壁面の道路に対する配置の仕方は、その空間に大きな影響を与えます。計画地は交差点に位置するため、交差点からの見え方に特徴がでる、「**角のデザイン**」を意識した**外観デザイン**とします。
- ・建物には**角をいくつか設けること**で、通りに**アクセントが加わり、アイキャッチ**となることから、**沿道のにぎわいを創り出す効果**があるとともに、**新たなシンボル**となります。



角をデザインする考え方のイメージ

